宮城県での派遣業務について

農林水産部 水産資源課 永田 健

1. 現在の状況

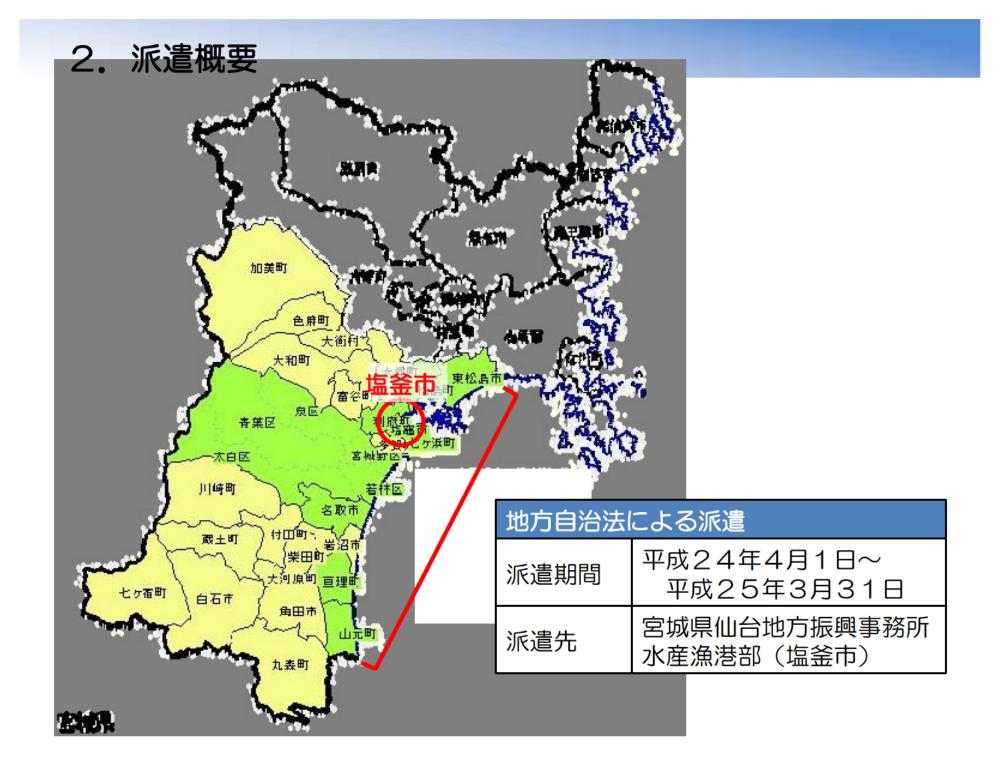
震災から1年以上が経過しているが、沿岸地域には震災の影響が残っている。



〇震災により崩れた道路(亘理町) H24年4月20日撮影



〇満潮により冠水した漁港(塩釜市) H24年10月15日撮影



4. 担当業務

震災復興のため、被災した漁業関連施設の修繕・新設に関する補助事業



○修繕されたカキ処理施設(塩釜市) H23年度の冬から生産開始



○新たに整備中のノリ加工施設(七ヶ浜町) 今年度の秋から生産開始予定

5. 担当業務における課題

- ○資金不足 漁協等が、自己資金の確保に苦慮している。
- ○人員不足 漁協等が窓口となる事業が多く、事業を進める人員が不足している。
- ○漁港整備との調整 漁港施設の被災、周辺の地盤沈下により、漁港整備との調整が必要。
- ○多様な行政手続き 建築制限、農地転用、水利権、特別名勝(松島)等の 行政手続きに時間が必要。

6. 漁船事故対応

期 間:平成24年9月24日~30日(7日間)

活動内容:情報収集、乗組員家族のサポート



〇記者会見の様子(塩釜市)



○救出者を乗せた光栄丸

- 〇関係市町や、水産分野に限らない幅広い分野との連携が重要。
- ○現状を踏まえ、先を見据えた復興の計画が重要。
- 〇漁業の復興には、グループ化や協業化などの新たな経営形態の導入が重要。

